



こぶし

令和元年6月29日

第4号

支笏湖小学校

校長 小川 亮男

令和元年度 学校重点教育目標

『実践力(できる)へとつながる学校教育活動の推進』

宿題っていつやるのでしょうか？

校長 小川 亮男

学校は3ヶ月が過ぎて7月を迎え、第1節の締めくくりと第2節に向けての準備の月となります。

＜7月25日(木)第1節終了 夏期休業 8月19日(月)第2節開始＞

第2節に向かうためにも、学校では進行状況を検証し、成長した面と課題を再確認して、児童一人一人の現在の状況をもとに7月を進めていくこととなります。

先月の学校だよりでは、「学習習慣、学習規律を身につけるとは……」というタイトルで文を書きました。その補足をPTCA全体会で予定していましたが、時間の関係でできませんでしたので、次の参観日の懇談会でお話ししようと思っています。その先月号の中で、学習習慣の定着に触れました。

そこで、宿題っていつやるのでしょうか。(どの学年も宿題は毎日出ています)

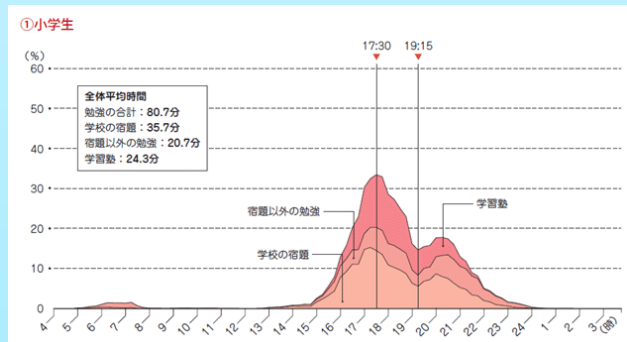
各ご家庭の考え方もあるでしょうが、基本は「学校から帰ったらすぐ」です。習慣化されれば、遊びたいので宿題を頑張るってやるものです。子供たちは遊びを優先したがりですが、遊び疲れてからは、能率が上がりません。友達と遊んでからでは、その余韻でダラダラとし、夕食時間や入浴の時間と重なり、宿題をする時間が後ろへすれ込んでいくことにもなります。そうするとやる気そのものが薄れていきます。つまり、以前、学校だよりで書いた「悪い習慣を身につける学習をしている」ということになりかねません。小学校の今だからこそ、「やることをやってから、自分の時間とする」という習慣を身につけさせたいものです。こうしたことを身につけておかないと、「中学で部活に入り、帰宅して食事をしたら疲れているので寝る」という習慣につながりかねません。習い事や塾があるときは、その前までの時間と帰ってからすぐということになります。もちろん、これらはあくまでも基本であり、ご家庭とお子様との「約束」で進められているところもあると思います。それがうまく機能しているのであれば、それに越したことはありません。



寝めることが基本

家庭学習とは。＜例えば、遊びからかえって、夕食までの時間＞

基本は、今習っているところを復習することが第一です。国語で、今習っているところの漢字や音読の練習(突っかからずすらすら読める練習)。算数では習ったところの問題を解く練習。そして、この復習に絡めて、若干の予習。先に意味を調べたり、漢字を練習したり、試しに次に習う問題を解いてみたり。算数では、「習ったところの教科書の問題を家庭学習ノートでもう一度解いてみる」という手法が効果的です。正しい答えが授業のノートに書かれているからです。ノートを見ながらご家庭で採点してあげることもできますし、自分で丸つけをすることもできます。



蛇足ながらも一つ、字を書くときの筆圧が気になります。鉛筆に力が入らず、薄い文字でくしゃくしゃと書く癖が見られます。美しい字で書ければ申し分ありませんが、それはなかなか難しいことです。多少不格好でも読みやすく丁寧に書く習慣が大切です。ご家庭で勉強を見てあげるときの一つのポイントにしていいただければと思います。

参観日において、「学校改善プラン(学力面)」と「体力向上プラン」についてお話しします。